

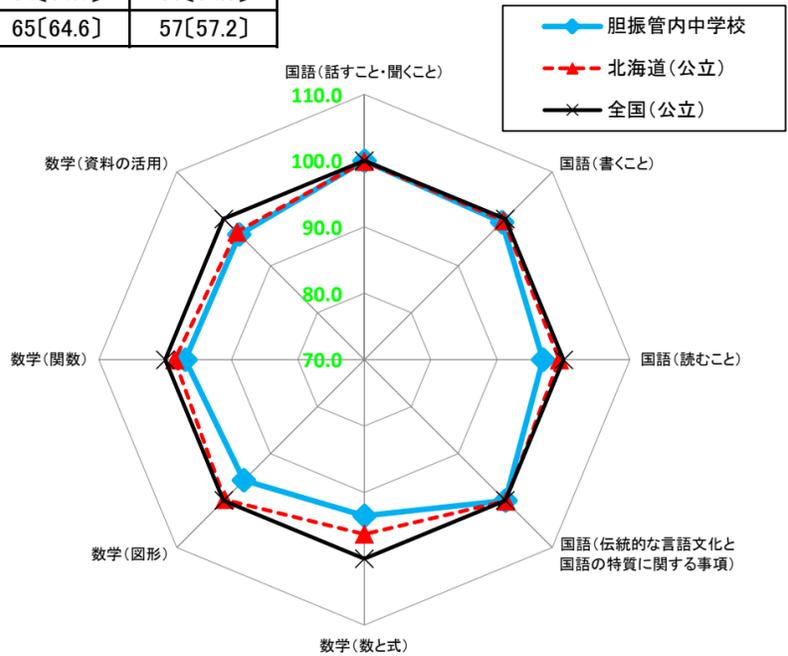
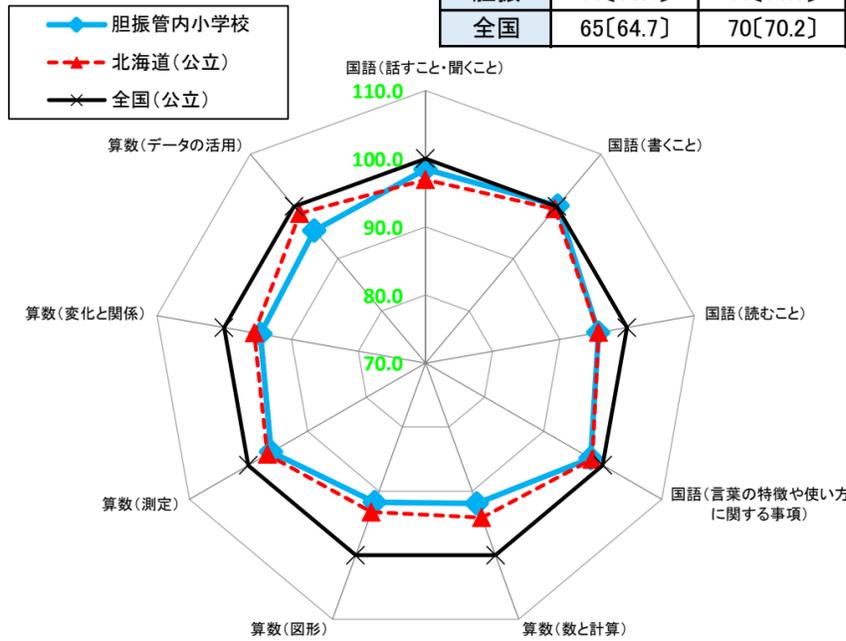
胆振の状況及び学力向上策

(小学校数:69校、児童数:2727人)(中学校数:44校、生徒数:2703人)

小学校 【教科全体の状況】

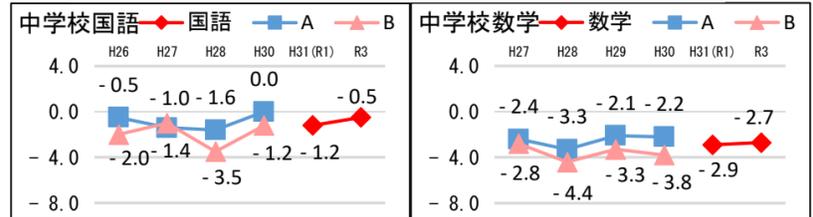
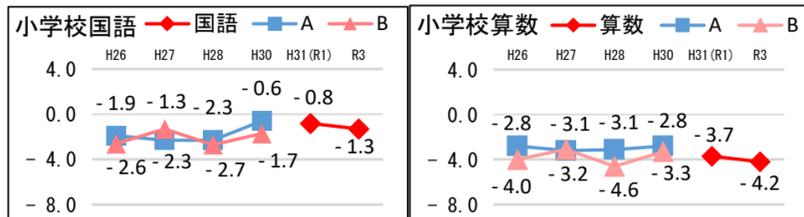
平均正答率	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学
胆振	63[63.4]	66[66.0]	64[64.1]	55[54.5]
全国	65[64.7]	70[70.2]	65[64.6]	57[57.2]

中学校



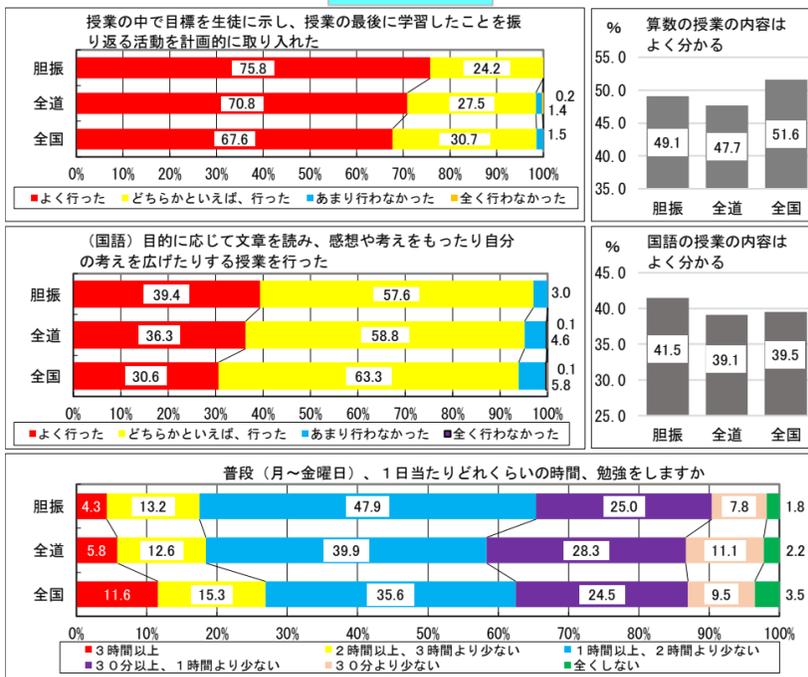
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの (管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

【平均正答率の推移】 「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

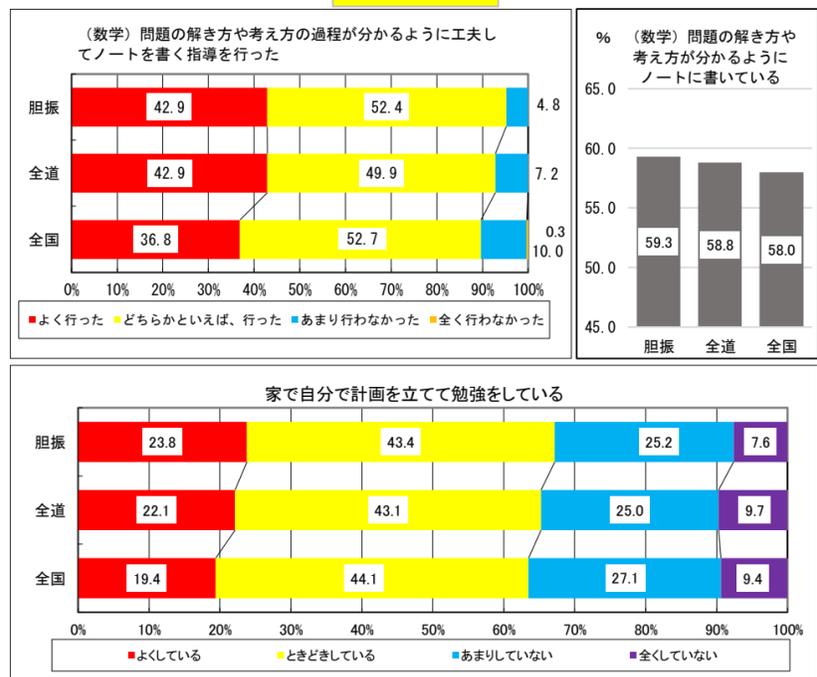


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

管内の多くの小学校において、授業の中で目標を児童に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたことにより、算数の授業の内容はよく分かる児童の割合が全道を上回ったと考えられる。

管内の多くの小学校において、国語科の授業で、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行ったことにより、国語の授業の内容はよく分かる児童の割合が全国を上回るとともに、「書くこと」の領域で全国及び全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

管内の多くの小学校において、家庭学習の手引を作成し、保護者と家庭学習の在り方について、共通理解を深めたことにより、学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上勉強する児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

管内全体で、数学科の授業改善に関わる研修会を実施し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むとともに、管内の多くの中学校において、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行ったことにより、数学科の授業において、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

管内の多くの中学校において、家庭学習の手引を作成し、保護者と家庭学習の在り方について、共通理解を深めたことにより、家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【胆振の学力向上策】 については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

胆振管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1) 組織的な授業改善の推進、個別最適な学びと協働的な学びの実現

- 客観的データに基づく焦点化した取組による学力向上に向けた課題の解決
- 各種調査や「いぶりoneシート」等の結果に基づく管内及び各学校の課題把握や課題解決策の提示
- 「学習内容の定着に向けた下位層への支援」及び「学習習慣の確立」に関する研修等の実施
- 個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業改善に関する学校訪問等での指導助言及び授業動画の配信
- 教員のICT活用能力の向上に向けた研修の実施
- 管内の課題である算数・数学に特化した研修の実施（独自）

(2) 家庭学習の充実、生活リズムの定着

- 家庭との連携・協力を軸とした家庭学習習慣の定着
- 事例の普及・啓発
- 「組織力強化会議」等における家庭学習習慣の定着に向けた取組交流の場の設定
- 「管内メディアコントロールフォーラム」の継続開催
- 就学時健診等、多くの保護者が集う場における情報提供や研修の実施
- 授業や各市町における保護者研修会等に活用できる指導資料の作成
- 北海道家庭教育サポート企業や家庭教育ナビゲーターと連携した研修等の実施

2. 具体的な取組 (◎：教育局、○：市町、●：学校)

月	(1) 組織的な授業改善の推進、個別最適な学びと協働的な学びの実現	(2) 家庭学習の充実、生活リズムの定着
10	<ul style="list-style-type: none"> ◎各学校への指導助言及び事例提供 <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育指導監経営訪問の実施（年間を通して実施） ◎管内学力向上ロードマップの共有 ◎研修会等による学校への指導 <ul style="list-style-type: none"> ・「胆振教育局チャンネル（学習内容の定着に向けた下位層への支援、学習習慣の確立、教員のICT活用等）」の取組（年間を通して実施） ●「ほっかいどうチャレンジテスト」の結果の活用（年間を通して実施） ○●市町や中学校区における各種調査結果等データに基づく共通実践の設定、管理職等による日常的な授業参観及び指導主事等の外部講師の指導助言を踏まえた共通実践の徹底（年間を通して実施） ○●個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業改善、ICTを活用した学習支援、デジタル教科書・教材等を活用した児童生徒の特性に応じたきめ細かな支援（年間を通して指導） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎各学校への指導助言及び事例提供 <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育指導監経営訪問の実施（年間を通して実施） ◎研修会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・就学時健診等、多くの保護者が集う場における情報提供や研修の実施（年間を通して実施） ・授業や各市町における保護者研修会等に活用できる指導資料の作成（年間を通して実施） ・北海道家庭教育サポート企業や家庭教育ナビゲーターと連携した研修等の実施（年間を通して実施） ・「胆振教育局チャンネル（学習内容の定着に向けた下位層への支援、学習習慣の確立、教員のICT活用等）」の取組（年間を通して実施） ○●家庭学習の質の向上に向けた実践、家庭学習の方針について児童生徒や保護者、教職員の共通理解の場の設定、中学校区での「家庭学習の手引」の作成や「家庭学習強調週間」の実施（年間を通して実施） ○●生活習慣に関わる現状把握や課題の明確化と全教職員による共有、「生活リズムチェックシート」等の活用（年間を通して実施）
11	<ul style="list-style-type: none"> ◎各学校への指導助言及び事例提供 <ul style="list-style-type: none"> ・理事研修会（11・2月に実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎各学校への指導助言及び事例提供 <ul style="list-style-type: none"> ・理事研修会（11・2月に実施）
12	<ul style="list-style-type: none"> ◎独自研修会等による学校への指導 <ul style="list-style-type: none"> ・算数科・数学科授業改善研修会の実施 ◎管内の学力向上に係る各学校の状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・各学校との「いぶりoneシート」を活用したWeb面談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎独自研修会等による学校への指導 <ul style="list-style-type: none"> ・算数科・数学科授業改善研修会の実施 ◎管内の学力向上に係る各学校の状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・各学校との「いぶりoneシート」を活用したWeb面談の実施
1	<ul style="list-style-type: none"> ◎市町教育委員会等への指導助言及び事例提供 <ul style="list-style-type: none"> ・市町教育委員会訪問の実施（1、2月） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎市町教育委員会等への指導助言及び事例提供 <ul style="list-style-type: none"> ・市町教育委員会訪問の実施（1、2月）
2	<ul style="list-style-type: none"> ◎管理職の人事異動・教職員の人事異動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校の課題を考慮した人事配置 ◎管内の学力向上に係る各学校の状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育指導訪問協議資料及び学力向上「いぶりoneシート」の集約 ●組織的な授業改善の推進、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取組の成果と課題、改善策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◎管内の学力向上に係る各学校の状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育指導訪問協議資料及び学力向上「いぶりoneシート」の集約 ◎独自研修会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・管内メディアコントロールフォーラムの実施 ●児童生徒の家庭学習の充実、生活リズムの定着に向けた成果と課題、改善策の検討
3	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校力向上に関する総合実践事業の成果の普及 	

3. 取組の評価

(1) 組織的な授業改善の推進、個別最適な学びと協働的な学びの実現

- 学力向上「いぶりoneシート」において、焦点化した学力向上に向けた目標数値を達成する小・中学校等の割合
 - ・現状 小・中学校全体…46.5%
 - ・目標 小・中学校全体…70%
- ※2月に評価

(2) 家庭学習の充実、生活リズムの定着

- 「家庭と課題を共有し、一体となった取組の推進を行っている」(A)及び「家庭学習の方針や方法、内容等について学校全体で統一した指導の徹底を行っている」(B)と回答した学校の割合
 - ・現状 小・中学校全体 A：91.3% B：98.3%
 - ・目標 小…100%、中…100% ※2月に評価

4. 改善点

(1) 組織的な授業改善の推進、個別最適な学びと協働的な学びの実現

- 第2回組織力強化会議を踏まえた各学校における学力向上の取組に係るミドルリーダーへの指導助言

(2) 家庭学習の充実、生活リズムの定着

- クラウドサービスの活用及び独自研修会の実施等による管内全体の事例共有